

町政を問う

悪質電話勧誘被害の未然防止対策を！

町長 基礎自治体ができることは啓発である



乾 裕

新年度から、県は被害防止対策事業を開始

乾 振り込め詐欺や特殊詐欺が多発。本町でもいつ被害者が出るかもしれない。県には通話に先立ち「警告メッセージ」を自動アナウンスし、「会話の録音」をする機器を市町村に貸し付け、市町村が選定する対象者に設置する事業がある。本町の対応はどうか。

町長 この事業は見送った。犯罪なので基本的には警察の所管です。

その上で未然防止という観点で基礎自治体ができることは啓発しかない。黒坂警察署から情報提供があればすぐに防災無線や有線テレビで放送する。機器の貸与でどのような効果があるかについて

災害時の非常食のアレルギー対策は

総務課長

アレルギー対応食は持っていない

は、まだ検証されていない。機器の数も数台しかない。期待できる効果も少ないと判断した。

乾 悪質な電話や実際にかかってきた時に、お年寄りなどが判断されるか不安。町単独で機器の貸与による未然防止事業はできないか。

町長 犯罪行為の未然防止について、警察の方からしっかりとしたこの機器は有効であるというア



写真はイメージ

ンサーが出てくれば、その時点で町としてどれくらいの規模でやれるかも含めて考えたい。

災害備蓄品の非常食の現状とアレルギー対策は

乾 近年大規模災害が多発している。平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害では甚大な被害となったことは記憶に新しい。本町も決して例外ではなく、災害に対する万全の備えをお願いしたい。非常食の種類、何食分か食物アレルギーは含まれるか伺う。

町長 備蓄品は県と市町村が連携して備蓄することを基本としている。その中で食物アレルギーの対応についても県の防災研究会で粉ミルクの備蓄のあり方について話をきていているところです。

乾 備蓄倉庫は何力所あるのか。

総務課長 現在、伯耆町



アルファ米

総務課長 非常食の現状は乾パン988食。アルファ米829食。スティックタイプ粉ミルク16箱。飲料水2本が1272本。乾パンの原材料は小麦が明示。アルファ米についても一般的なものを使用しており、アレルギー対応食は持っていないので、今後検討する課題と認識している。



備蓄倉庫（長山）



伯耆町教育文化会館

教育文化会館（取り壊し後は岸本体育館等に移設検討中）と溝口体育館の隣接地に専用倉庫がある。他には岸本小学校、岸本公民館、こしき保育所、二部体育館にアルファ米50食程度保管されている。